

やさしさいっぱい 元気いっぱい やる気いっぱい



鳥栖っ子

学校合言葉

～わをつくろう～

令和6年12月23日(月)

鳥栖市立 鳥栖小学校

文責 校長 古賀 泰伸

“手と手をつなぎ 心をつなぎ わになって” みんなで助け合う みんなの笑顔のために

「ピンポ～ン」「たっきゅう便です」!?



みなさんは、題名を読んでピンとききましたか？

これは、落語の体験授業の中で講師の落語家の方が披露した短い落語の一つです。

12月5日、PTAの協力により教科「日本語」にある落語の学習の一環として体験授業を行いました。講師は、宗像落語会の「粗忽家(そこつや) 酔書(よいしょ)」先生。私も、さわりの部分だけ参加させていただきましたが、話し慣れているのででしょう。少々緊張気味に聞いていた子どもたちの表情が、あれよあれよと和らぎ始め、リラックスしながら聞くことができました。また、扇子や手ぬぐいを使った所作では、楽しげにそばをすする動作にチャレンジしていました。

酔書先生の話の中で印象的だったのが、「落語は、見えないものを想像させることができる。」ということです。麺をすする動作にしても、箸代わりに扇子を持ち、持っていない手の使い方、どんぶりを持つときやカップ麺を持つときの違いで、見る人に違った想像をさせることができること。想像だから、実際はできないことも自由に表現できることを伝えてくださいました。

伝統芸能の落語が、子どもたちにとって、身近なものになったのではないかと感じる話でした。

言語感覚を磨いたり、想像力を高めたりする良い機会を与えてくださったPTAの方、酔書先生に感謝です。

今年も門松を作っていました!!



12月14日(土)、今年も鳥栖小学校のおやじの会の5名の方々と6年生女子2名によって、鳥栖小学校の駐車場付近に門松を作っていました。

当日は、朝早くから集合していただき佐賀市まで竹を切りに行かれ、午後からは、切った竹や松の枝など格好良く切り、また、写真にあるように竹の節の部分うまく活用しながら、笑顔に見えるように加工しながら立派な門松が完成しました。

作っている最中にも、女子の2名は土を積んだり一輪車を押したり、門松の土台に土を入れたり、また、後片付けを手伝ったりと大活躍でした。

とても寒い1日でしたが、この7名の方々によって、よい年が迎えられそうです。感謝申し上げます。

いよいよ冬休みですね・・・

子どもたちにとっては、待ちに待った冬休み。家庭でゆっくりと過ごしたり、地域の行事に参加したり、また、里帰りや旅行と行った遠出を計画されていて、きっとウキウキしている子どもも多いかと存じます。

一方で、北九州で起きました痛ましい事件のことを考えますと、「無事に過ごしてほしい」というのが私たち学校側の願いです。まだまだ小学生。子どもたちだけで出かけることがないようご家庭でもお話をしていただけると存じます。

末尾になりましたが、よいお年をお迎えください。